



シリーズ～終末を生きる～

2018/6/24

七つの封印

ヨハネの黙示録6章

また、わたしが見ていると、小羊が七つの封印の一つを開いた。すると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。そして見ていると、見よ、**白い馬**が現れ、乗っている者は、弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上に更に勝利を得ようと出て行った。小羊が第二の封印を開いたとき、第二の生き物が「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。すると、火のように**赤い別の馬**が現れた。その馬に乗っている者には、地上から平和を奪い取って、殺し合いをさせる力が与えられた。また、この者には大きな剣が与えられた。

小羊が第三の封印を開いたとき、第三の生き物が「出て来い」と言うのを、わたしは聞いた。そして見ていると、見よ、黒い馬が現れ、乗っている者は、手に秤を持っていた。わたしは、四つの生き物の間から出る声のようなものが、こう言うのを聞いた。「小麦は一コイニクスで一デナリオン。大麦は三コイニクスで一デナリオン。オリーブ油とぶどう酒とを損なうな。」小羊が第四の封印を開いたとき、「出て来い」と言う第四の生き物の声を、わたしは聞いた。そして見ていると、見よ、青白い馬が現れ、乗っている者の名は「死」といい、これに陰府が従っていた。彼らには、地上の四分の一を支配し、剣と飢饉と死をもって、更に地上の野獣で人を滅ぼす権威が与えられた。

小羊が第五の封印を開いたとき、神の言葉と自分たちがたてた証しのために殺された人々の魂を、わたしは祭壇の下に見た。彼らは大声でこう叫んだ。「真実で聖なる主よ、いつまで裁きを行わず、地に住む者にわたしたちの血の復讐をなさらないのですか。」すると、その一人一人に、白い衣が与えられ、また、自分たちと同じように殺されようとしている兄弟であり、仲間の僕である者たちの数が満ちるまで、なお、しばらく静かに待つようにと告げられた。また、見ていると、小羊が第六の封印を開いた。そのとき、大地震が起きて、太陽は毛の粗い布地のようになり、月は全体が血のようになって、天の星は地上に落ちた。

まるで、いちじくの青い実が、大風に揺さぶられて振り落とされるようだった。天は巻物が巻き取られるように消え去り、山も島も、みなその場所から移された。地上の王、高官、千人隊長、富める者、力ある者、また、奴隷も自由な身分の者もことごとく、洞穴や山の岩間に隠れ、山と岩に向かって、「わたしたちの上に覆いかぶさって、玉座に座っておられる方の顔と小羊の怒りから、わたしたちをかくまってくれ」と言った。神と小羊の怒りの大いなる日が来たからである。だれがそれに耐えられるであろうか。

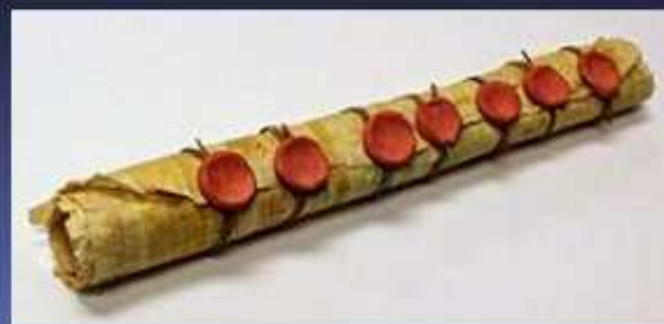
七つの封印で封印された巻物

- 天上の礼拝(第4章)

- 玉座におられる方(父なる神)と四つの生き物と二十四人の長老が礼拝する

- 屠られた小羊(第5章)

- 終末の出来事を記した巻物の封印を開くのにふさわしい方が見当たらない
- その血をもって人類を贖われた「屠られた小羊」(イエス・キリスト)だけが巻物を開くことができる
- 長老・天使・万物が小羊を賛美する



第1の封印<侵略者>

- 第1～第4の封印は馬と乗り手
 - 聖書の時代の馬は「軍馬」である
- 白い馬と乗り手
 - 無敵の強さを象徴している
- 「弓を持っていた」
 - 強力な武器(武力)を持っている
- 「彼は冠を与えられ、勝利の上に更に勝利を得ようと出て行った」
 - 国々を征服してゆく侵略者

第2の封印<戦争>

- 火のように赤い馬と乗り手
 - 流血を連想させる色
- 「地上から平和を奪い取って、殺し合いをさせる力が与えられた」
 - 民族間、国家間の戦争が頻発する
- 「この者には大きな剣が与えられた」
 - 核兵器のような強力な武器が使われる

第3の封印<物価の高騰>

- 黒い馬と乗り手
 - 手に秤を持っている
- 「小麦は一コイニクスで一デナリオン。
大麦は三コイニクスで一デナリオン」
 - 1コイニクス=1.1リットル
 - 1デナリオン=1日分の給料
 - パン4斤=1万円?>食物の高騰
- 「オリーブ油とぶどう酒とを損なうな」
 - ぜいたく品はそのままである>貧富の差?

第4の封印<死>

- 青白い馬と乗り手
 - 「死」を連想させる色
- 「乗っている者の名は「死」といい、これに陰府(よみ)が従っていた」
 - 「陰府(ハデス)」とは死者が行くと考えられていた
- 「彼らには、地上の四分の一を支配し、剣と飢饉と死をもって、更に地上の野獣で人を滅ぼす権威が与えられた」
 - 戦い・飢餓・疫病・野獣?により1/4の人類が滅びる

第5の封印<殉教者>

- 「神の言葉と自分たちがたてた証しのために殺された人々の魂…祭壇の下」
 - 終末期の殉教者か？
- 「地に住む者にわたしたちの血の復讐をなさないのですか。」
 - 彼らを殉教に追いやった悪者たちへの裁き
- 「白い衣(義の衣)が与えられ」「しばらく静かに待つようにと告げられた」
 - 「自分たちと同じように殺されようとしている兄弟であり、仲間の僕である者たちの数が満ちるまで」>更に多くの殉教者が出る

第6の封印

- 天変地異
 - 大地震・天体の異変(太陽・月・隕石)・大規模な地殻変動
- 全人類は恐怖に打たれて身を隠し叫んだ
 - 山と岩に向かって、「わたしたちの上に覆いかぶさって、玉座に座っておられる方の顔と小羊の怒りから、わたしたちをかくまってくれ」
- 「神と小羊の怒りの大いなる日がきた」
 - 人類の背きに対する「怒り」であるが、同時に悔い改めに導く手段でもある

7つの封印が語る終末の出来事

■ 人間世界の混乱

- 4つの馬と乗り手:白(侵略者)・赤(戦争)・黒(物価の高騰)・青白(死)

■ 殉教者

- 終末の到来を悟り多くの人々が福音に立ち返るが、死に至る

■ 天変地異

- 宇宙規模での異変
- “終末”の到来を人類が認める

一度始まった終末の手続きは止められない！